

# 履歴書

(しばた さとる)

【氏名】 柴田 怜 (男)

【生年月日】 1991 年 6 月 27 日 生 (満 29 歳)

【現住所】 〒250-0858

神奈川県小田原市小台 19-1

TEL 080-6708-5390(スマートフォン)

E-mail [satorushibatad4dr@gmail.com](mailto:satorushibatad4dr@gmail.com) (PC/スマートフォン)



年	月	学 歴
2011	4	法政大学 経済学部経済学科 入学
2015	3	法政大学 経済学部経済学科 卒業 <a href="#">学士(経済学)</a>  卒業論文 『環境税の導入が及ぼす環境・経済・社会影響の実証分析: 産業連関分析・LCA と応用一般均衡モデル』
2015	4	上智大学大学院博士前期課程 地球環境学研究科地球環境学専攻 進学
2017	3	上智大学大学院博士前期課程 地球環境学研究科地球環境学専攻 修了 <a href="#">修士(環境学)</a>  修士論文 <a href="#">『エネルギー改革策が及ぼした環境・経済・社会的影響: 日独英仏国の実証分析と国際比較』</a> 分析手法: 対数線形重回帰分析、主成分分析、分散分析、偏微分、重積分、グラフ描画 <a href="#">Total GPA3.74/4.00(93.5%)</a>

年	月	職 歴
2017~2020	4~7	『株式会社セラク』 Data Scientist
2020~2021	9~2	『株式会社 EDIX』 Lead Data Scientist(常駐先における技術顧問)

## 【志望理由】

私は、データサイエンティストとして計 3 年以上の開発経験(Python3/R/SQL 等)と併せ、常駐先のプロジェクト・マネージャーの下、データサイエンスに係る技術顧問を務めるとともに、現職におけるデータサイエンティスト職の採用面接補佐官を担いました。

これらの業務経験を活かし、更なるキャリアアップを図りたく、データサイエンスに係る PM 又は技術顧問等に就くことを目的として応募させていただきます。

尚、2021 年 2 月 28 日付の退職届を提出し、正式に受理されました。つきましては、現職の雇用契約上、2021 年 3 月 1 日から就業可能です。ご了承ください。

## 【開発経験から学んだこと】

- 工程毎に顧客の要求項目・納期を明確化し、メール等によってエビデンスを取ってから、具体的に作業する重要性を再認識致しました。
- 作業前に計画を立て、その手順を確認・共有することの重要性を再認識致しました。
- 何事についても齟齬を起こさないように報連相を欠かさず、迷ったら、確認を取ることを心がけております。
- コーディングを行う際は、必ず設計を行い、ロジックを立ててから行うことで、デバッグ処理を短縮するよう心掛けております。

【称号・受賞・資格】

1. [Kaggle Expert](#) (2020 年 12 月)
  - [Code Highest Rank: Top 0.3% \(545/161453\)](#)
  - [Code Solo 2 Silver + 7 Bronze Medals](#)
  - [Discussion Solo 19 Bronze Medals](#)
2. [統計科学研究所統計データ分析士 2 級](#) (第 1212 号 2017 年 2 月 28 日)
3. [UiPath Academy RPA Developer Foundation](#) (2019 年 4 月)

【テクニカルスキル】

- 言語: Python3/R(GitHub を含む)
- IDE: Jupyter Notebook/RStudio
- DB: BigQuery/Redshift SQL/ MySQL
- 機械学習(LightGBM、XGBoost、t-SNE、k-means、密度準拠クラスタリング、主成分分析等)
- 計量時系列分析(多変量 SV モデル、偏グレンジャー因果性検定、単位根検定、共和分検定等)
- 統計解析(統計の有意差検定、一般化線形モデル、構造方程式モデリング、パネルデータ分析等)
- 動学的応用一般均衡モデル(環境・経済・雇用影響に鑑みた確率過程に基づくマクロ計量モデル)
- 産業連関分析・(Life Cycle Assessment)
- 文献調査・リポーティング(和英)

1. [Kaggle の成績表\(要旨\)](#)

Competitions	Top	Teams	Notebooks
<a href="#">Predicting Molecular Properties</a>	21%	553/1636	
<a href="#">ALASKA2 Image Steganalysis</a>	25%	272/1095	
<a href="#">M5 Forecasting - Uncertainty</a>	26%	237/912	
<a href="#">TReNDS Neuroimaging</a>	32%	336/1051	
<a href="#">OpenVaccine: COVID-19 mRNA Vaccine Degradation Prediction</a>	33%	532/1636	
<a href="#">Riiid Answer Correctness Prediction</a>	34%	1133/3406	1 Bronze Medal
<a href="#">Jane Street Market Prediction</a>			2 Silver + 5 Bronze Medals
<a href="#">Lyft Motion Prediction for Autonomous Vehicles</a>			1 Bronze Medal

2. 公益財団法人みずほ学術振興財団第 61 回懸賞論文【経済の部】「ESG 投資について考える」

『エネルギー・気候変動と日本経済における 2050 年問題に向けた動的マクロ計量モデルに基づく ESG 投資の利用』

非線形パネル VAR-SPDE-LSTM モデル(精度評価付き)の開発』

- [開発資料\(R による実行結果\)](#)
- [発表資料](#)
- キーワード:

共和分検定、単位根検定、偏グレンジャー因果性検定、非直交化インパルス応答関数、パネル VAR(Vector Auto Regressive)モデル、幾何ブラウン運動、確率偏微分方程式、LSTM(Long Short Term Memory)、多重共線性

【スポーツ】 筋力トレーニング(デッドリフト 400kg、ショルダー・プレス 160kg、HIIT)、水泳(4 泳法可能)

【扶養家族】 無 【配偶者】 無